

BJ 新型コロナウイルス対応リスト、指針( フェーズ3、2020/10/31～)

シーン	項目
1 事前準備	(1) 選手、スタッフ、指導者は活動当日の体調等を確認し、練習1時間前までにチェックリストを小室までメールで送付すること。
	(2) 健康チェックリストの提出が無い場合はトレーニング、試合等の参加は不可とする。
	(3) 保護者が活動内容を理解しており、参加を了承している。(了承しない場合は無理に参加させない。)
2 往復の移動	(1) マスクを着用する。
	(2) 可能な限り徒歩・自転車等で移動すること
	(3) 自動車では換気を行い、できるだ乗り合わせは避け、やむを得ない場合は乗車人数には余裕をもたせること
	(4) 往復の交通公共機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。
	(5) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。
	(6) 切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。
	(7) 電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話も控える。
	(8) 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。
	(9) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。
3 トレーニング・試合前	(1) 選手・指導者・スタッフはプレー時以外はマスクを着用し、外したマスクはチャック付きのビニル袋(名前も記入)に入れ、飛ばないようにジャグ等にひも等で固定する。
	(2) トレーニングや試合前には手洗いやうがいをを行う。水道施設が無いグラウンドを使用する場合にはスタッフがタンク(2、3個)に水を準備し、指導者、スタッフが蛇口の操作して手洗いをを行うが、うがいは行わない。
	(3) 当面の間、出席簿は記入しない
	(4) 握手やハイタッチ等を行わない。(ひじタッチもNG)
	(5) 円陣は行わない。
	(6) ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。行う場合は選手間は最低でも1m、指導者・スタッフとは2m離れる。
4 トレーニング・試合中	<b>試合関係者のコミュニケーション、給水等</b>
	(1) 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。
	(2) プレー以外の不要な接触を避ける(得点後の喜び、交代時の握手等)。
	(3) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
	(4) 長イス(ベンチ)上では選手間の距離を保てないため、使用せず、地面に座ることで対応する。
	(5) サブの選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。
	(6) ボトルを他の選手と共有しない。
	(7) 体を冷やすための氷水などにつけたタオルはBJでは準備せず、個人で用意する。
	(8) うがいした水をピッチ内に吐かない。
	(9) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。
	<b>ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応</b>
	(1) 選手交代後においても消毒や手洗い、うがいをする。
	(2) 退席や退場の際等、審判員と会話をすることがあったとしてもその距離には十分に配慮する。
	(3) 怪我をした選手をおんぶやだっこをすることはできるだけ避けるが、せざるを得なかった場合は速やかに消毒を行う。
	(4) メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。
(5) 試合後のチーム、審判員との挨拶、相手チームベンチへの挨拶は行わない。	
5 トレーニング・試合後	(1) 練習終了後は手洗い、うがいをを行う。
	(2) 試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分する。個人で出したゴミは、個人で持ち返る。
6 帰宅後の過ごし方	(1) 手洗いうがいを徹底する。
	(2) バランスの良い食事をとる。

	(3) 検温と共に行動記録を書く。
	(4) 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。
<b>7 事後対応</b>	(1) 帰宅後3日以内にチームの中から感染者が出た場合は、感染対策責任者に速やかにその旨伝える。
<b>8 施設用具等の対応</b>	<b>手洗い場所、洗面所</b>
	(1) 手洗い場にはポンプ型の液体または泡石鹸を用意し、学校にある備品は、原則、利用しない。
	(2) 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
	(3) 手洗い後に手を拭くためのタオルは個人で準備する。
	(4) 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒用薬を用意すること
	(5) 屋外トイレを使用した後には、必ず水道で手洗い及びうがいをし、手洗い後は、蛇口にも水をかけ清潔に保つ
	(6) トイレ内の複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
	<b>スポーツ用具の管理</b>
	(1) 利用者にスポーツ用具を持参してもらうよう周知すること。基本的に選手に貸し出すものは体験者、指導者向けのボールのみ。
	(2) ビブスは個人持ちのものが無い学年は、BJのものを貸し出し、毎週(出来れば毎日)洗濯を行い、自分で管理をする。
	(3) やむを得ず共用するスポーツ用具については、手が頻回に触れる箇所を工夫して最低限にした上で、こまめに消毒すること。
	(4) スポーツ用具の貸出を行う場合は、貸出を行った利用者を特定できる工夫をすること
	(5) 貸出前後に消毒すること
	(6) グラウンドのブラシ掛けは指導者、スタッフで行い、選手は手洗い等に専念する。ブラシ等は指導者により消毒を行う。
	(7) 鉄棒等の遊具は使用しない
	<b>見学、観客の管理</b>
	(1) 見学、観客も入場させる場合には、密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ減らすなどの対応をとること
	(2) 大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること
	<b>ゴミの廃棄</b>
	(1) やむを得ず行う鼻水、唾液などが付いたゴミの処置指導者が行き、マスクや手袋を着用し、ビニール袋に入れて密閉して縛ること
	(2) マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸（ポンプ型の液体または泡石鹸）と流水で手を洗い、手指消毒すること
	<b>清掃・消毒</b>
	(1) 市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃すること
	(2) 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面(洗面台、水道の蛇口、屋外トイレ、サッカーゴール等)の他、正門などのカギを、始業前、終業後に清拭消毒すること
	<b>その他</b>
	(1) 運動・スポーツの際の栄養補給等としてチームとしては飲食物を提供しない。
	(2) 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛け、対面にならないよう距離を空けて食事をとること
(3) 選手、指導者、スタッフへの飲み物等の提供は行わない。	
(4) 対外試合は、県内および市内の感染状況、選手の状況や試合会場までの移動がおおむね1時間以内であることを基準として判断する。	

チーム感染対策責任者：監督 小室 善昭